

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策での問題点として火災訓練・津波訓練それぞれ単独での想定が中心で行ってきたが、地震・火災・停電を組み合わせた複合災害への対応が十分でない。、避難後の生活継続（BCP）の実践的な訓練不足。	地震・火災・停電を想定した複合災害において、昼夜問わず全職員が適切に対応、避難誘導が行える体制を整備する。避難後においても、ライフラインの停止で入居者の生活の継続ができるよう、BCPIに基づいた支援体制を確立する。	地震・火災・停電を組み合わせた複合災害訓練を実施し一連の流れを確認する。消火後は電気・ガスが使用できない状況を想定し、食事提供・水分確保・環境整備等のBCP訓練へ移行する。	2 ヶ月
2	11	運営に関する職員意見の反映として外国人職員を含め、積極的に意見を発言できる職員がいる一方で、消極的な職員については意見が十分に把握できていない状況がある。LINEで翻訳し言語面には配慮は行っているが文化的背景や遠慮等により本音の意見や提案が引き出しきれない可能性がある。	外国職員を含め、すべての職員が安心して意見や提案を発信できる環境を整える。	個別LINEを活用し職員が直接意見や提案を発信できる環境を整えることで、対面では発信しにくい外国人職員も安心して意見を出せるようにする。収集した意見については記録し内容結果を職員へ共有することで意見が反映されていることを実感できるようにする。	1 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。